

## GCOE 国際会議出席報告書 (外国旅費用)

拠点リーダー 川合 光 殿

(ふりがな) 氏 名	(いのうえ すすむ) 井上 進	所属・職名	指導教員名 (院生の場合)
		天体核研究 室・研究員	
Tel,Fax e-mail	075-753-3880, 075-753-3886 inoue@tap.scphys.kyoto-u.ac.jp		
発表題名	High-energy gamma rays from gamma-ray bursts and clusters of galaxies		
著者名	Susumu Inoue, Peter Meszaros, Felix Aharonian, Günter Sigl et al.		
会議名称 ・開催期間	TeV Particle Astrophysics 2008 自 2008 年 9 月 24 日 ~ 至 2008 年 9 月 28 日		
開催地 (国、市)	中国 北京		
出張期間	自 2008 年 9 月 23 日 ~ 至 2008 年 9 月 29 日		
国別参加者数	中国 122 名、アメリカ 27 名、フランス 10 名、イタリア 10 名、日本 8 名、ドイツ 6 名他		
<p>発表内容、聴衆の反応、質疑応答、その他について簡潔に記述してください。</p> <p>ガンマ線バースト及び銀河団の各天体で予想される GeV-TeV 領域のガンマ線放射について、30分の招待講演を行った。特に、最近話題の超高エネルギー宇宙線との関連に焦点を当て、近い将来の観測可能性を議論した。</p> <p>質疑応答では Glennys Farrar、Brenda Dingus、Zhuo Li らにガンマ線バーストの放射モデルについて、Peter Meszaros に銀河団の放射モデルについて質問を受け、対応した。</p> <p>また、発表後、Fermi (GLAST) Collaboration の Valerie Connaughton や、HESS Collaboration の Bruno Khelifi、Andreas Zech らに「面白かった」とコメントを受け、いくつかの点について詳しく議論をした。</p> <p>自分の発表以外では、PAMELA、Fermi (GLAST)、MAGIC、Auger などの最新観測結果の情報を得ることができ、非常に有意義であった。</p>			